

オブジェ・パネル・食器

A 2200305 岡部 美香

制作意図・デザインコンセプト

オブジェとパネルを「平和」、食器を「食を楽しむ」のテーマとし制作。

オブジェ『翼』

平和の象徴である「ハト」の羽根をモチーフに制作。10本の長さの違う柱を並べ、大空を羽ばたいていけるような力強さを表現。

パネル『雪月花』

幻想的な世界を表現したいと考え制作。螺鈿や漆絵を用い、波に写る月の影や散っていく花びらを表現。

食器『お椀・湯呑み・受け皿・お弁当箱・ぐい呑み』

朱の中に黒が見える、根来技法を用いた湯呑み・受け皿を始め、食に関するもの制作した。

製作工程

オブジェ『翼』

- 1.木取り
- 2.木固め
- 3.切粉付
- 4.錆付
- 5.錆研
- 6.下塗り(スグロメ漆)
- 7.中塗り(スグロメ漆)
- 8.上塗り(黒呂色漆)
- 9.擦り漆
- 10.胴擦り
- 11.呂色仕上げ

食器

- 1.生漆とシンナーを混ぜ、塗る
- 2.生漆を塗る
- 3.研ぎ
- 4.拭き漆

パネル『雪月花』

- 1.木取り
- 2.木固め
- 3.切粉付
- 4.錆付
- 5.錆研
- 6.下塗り(スグロメ)
- 7.中塗り(スグロメ)
- 8.上塗り(黒呂色)
- 9.擦り漆
- 10.銀を蒔く(月・山)
- 11.粉固め
- 12.螺鈿(波)
- 13.黒呂色
- 14.胴擦り
- 15.呂色磨き
- 16.漆絵(花)



オブジェ『翼』



パネル『雪月花』



食器

考察・感想

オブジェは初めて完成させた漆の作品で、まだ制作に慣れていない時に気の遠くなる作業が続いたため、特に印象に残っている。オブジェで努力した分、最後に制作したパネルでは自分の成長が感じられ、納得のいく作品に仕上がった。しかし、作品のほとんどが板物で、乾漆や発泡剤を用いた曲線の作品が出来なかったのが残念だった。現代は、機械化が進み、手作業で作ることが少なくなってきていると思う。その中で手作りの暖かみを感じる事が出来、しかも会津の伝統工芸である漆芸に触れられたことはいい経験であったと思う。